

LPG新時代のユニークな情報紙

石油ガス・ジャーナル

**バルク/メータ
メーカー特集号**

毎月第1週には石油ガス関係のデータ記事
(DATA BANK) を掲載します。

発行所/石油ガス・ジャーナル株式会社
〒105-0003 東京都港区西新橋2-6-3 染谷ビル
TEL.03(5157)8336 FAX.03(3581)5554
http://www.sekiyugasu-janaru.jp

★バルク特集Ⅱ / メータメーカー特集号

2022年7月22日 金曜日 第1770号

電力不足と節電要請の今後

ーガス業界にとっての意味と取組みー

政府は運転停止中の火力発電所の再稼働などで需給の目途が立ったことから、東京電力管内で発令した「電力逼迫注意報」を6月30日解除した。しかし、7月以降も北海道と沖縄を除く8エリアで予備率が低くなるとの予想から、7年振りに全国規模での節電要請を行った。更に今冬の電力不足対策として、岸田文雄首相は14日の記者会見で、原子力発電所9基と火力発電所10基を再稼働することを明らかにした。既に家庭用のデマンドレスポンスの利用を小売事業者に要請しており、当面需給問題への対応は

続く。また11日には経済産業省審議会で、かつてない「都市ガスの節ガス要請」について議論を開始した。岸田政権はロシア産LNGの日本企業



出所: 資源エネルギー庁「電力需給対策について」

CSクリエイイト、節電コンテンツ

「みんなで節電」A5カラー12頁で提案

ガス事業者向けツールや協会サポートシステムを提供する㈱シーエスクリエイイトはこのほど夏の節電行動を促すための小冊子「みんなで節電、電力不足を克服しよう! /夏の節電編」(A5判カラー12頁)*の提案を開始した。コロナ感染の再拡大により展示会開催も懸念される中、「ガス機器に変える」などでの節電を提案する。当面は紙媒体での提供を想定。価格・カスタマイズ等の詳細は近日決定する。夏以降には「冬の節電編(ガス機器版、総合エネルギー版)」と、1年間を想定した「日常編」を制作する予定。

問合せは、シーエスクリエイイト TEL.043-298-1140

[夏の節電編・ガス機器版]▷家電製品の電力消費割合▷電力消費ピーク時間帯▷家電別節電ポイント(キッチン、リビング、サニタリー)▷ガス機器への切替提案など



* ガス機器版/家電版の2種、制作「次世代ガス事業問題研究会」